

地区広報 芸術の森



木は不揃いだから美しい、
木の癖を見ぬいて生かす

芸術の森地区連合会 会長 鈴木久夫

芸術の森地区連合会の今年度最後の行事、「雪あかりの祭典」も無事終了しました。今年は8会場（まちづくりセンター含む）全てを廻りましたが各自各様に特徴が出ており大変良かったと自負しております。芸術の森地区会館で開催された「アパッショナート」によるコンサートに、サンプライト町内会から駆けつけてくれたご夫婦が「私達の孫のような子供たちの演奏を聴きに来ました」との言葉には感動させられました。

さて、地区広報・芸術の森に掲載するのもこれが最

後となりました。三月は別れの月、四月は出会いの月と申しますが、小生にもその時が参りました。会長職を引き受ける時に「知力、気力、体力のある限り而今（じこん）の気を持って頑張ります」と申し上げましたが、この三つの一つでも欠けると人間としての器量が失せていくもの。皆様にこの先、迷惑をかけぬうちに退職を決意しました。二年間の短い期間でありますましたが地域の皆様方に支えていただきましたことに感謝申し上げ終極と致します。



新たな事業の取組みと今後の活動に向けて

芸術の森地区社会福祉協議会 会長 塩田恒雄

雪解けも進み、春の気配が感じられる季節を迎えました。

今年は、2月19日から第8回アジア冬季競技大会が札幌市で開催され、国際色豊かな大会の熱戦が繰り広げられました。

日頃、皆さま方のご協力により、各事業が円滑に推進されておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。

本年度は、「地区社協シンボルマーク」の作成（詳細は別掲）における常盤中学校での取組が、美術科の授業の一環として行われ、先生方の熱い指導と各生徒さんのテーマ（自然と福祉）に関する個性豊かな作品が多数提出され、あらためて学校との連携の大切さと

ご協力に感謝し、今後の活動の推進に努める所存です。

「地区福まち推進センター」事業については、各専門部の事業見直しを図り、「介護予防」「見守り・訪問」など各町内会・福まち運営委員を通じた体制の推進に力を入れてまいります。

今後の地域福祉活動としては、29年度の定期総会で提案致しますが、「日常の見守り活動・災害に備えた地域の支え合い活動」（南区役所）、「介護予防：地域ケア」及び「地域の担い手」など課題の解決に向け、関係機関と連携し、「安全・安心のまちづくり」の推進に努めてまいります。皆さまの、更なるご支援をお願い致します。

第37号

平成29年3月31日

発行 地区広報・芸術の森
編集委員会

印刷 (株) 辻孔版社

題字 平澤 博



青少年育成委員会の3年間の活動を振り返り

芸術の森地区青少年育成委員会 会長 前 口 敦 司

28年度も残りわずかとなりました。26年4月より新委員会が始まり早いもので3年が経とうとしています。そして改選の年になります。3年間の任期はあつという間でした。それとともに充実した活動がてきたと自負しています。それもひとえに地域の皆様のご協力があってこそです、皆様方には心より感謝申し上げます。

さて本年度の事業報告ですが、サマーレクリエーション（7月・参加15名）、常盤中学校アイネットワーク共催の教育フォーラム（11月）、南区少年少女親善スポーツ大会（9月・参加2チーム）、交流もちつき大

会（12月・動員数約200名）、小学生スキー教室（1月・参加28名）、芸術の森音楽祭（11月）、南区成人式（1月）、祭事のパトロール（随時）等々どの事業も地域の子ども達と一緒に活動できました。

29年度も新たな気持ちで子ども達と一緒に楽しい活動をしたいと思っています。その際には地域の皆様や保護者の方々の一層のご理解と御協力お願い致します。委員の年齢も少々高齢化してきましたが子どもたちの元気をもらい、活発な活動をしたいと思います。

29年度もガンバります！

常盤中学校発 住みよい地域にするための提言

2月3日、13日、23日の3回、常盤中学校の生徒2年生94名、1年生80名、保護者・地域住民が体育館に集まり、2年生の熱弁に耳を傾けたのは、自分たちの郷土（常盤・石山東）を見直し、街の活性化のプランを考える取り組みでした。

これは中学校の総合的な学習の時間を利用し11月より企画を練り、発表に至ったものです。

自分の郷土を深く知ることから始まり、交通機関の

充実・図書館の新設・公園の新設等若者視点でのフレッシュな考え方方が幾つも生まれてきました。企画の段階から地域住民がゲストティーチャーとして協力をしたことは勿論ですが、考える力を身につけることを念頭に進められた先生方の努力は計り知れません。次年度も継続していくとの話があり、地域に夢をもたせるものとなるでしょう。

（文責 三上）



 札幌市保養センター 駒岡 宿泊、休憩、入浴、レストランなど 低料金でご利用いただけます。 お気軽にお越しください。	老人クラブ等向けプラン ・宿泊 ¥5,500(1泊2食) ・日帰り ¥2,200(入浴付) <small>※10名様以上からご利用いただけるカラオケ付きプラン。 ※無料送迎付(札幌市内1ヶ所、要予約)</small>	宴会プラン ・宿泊 ¥5,500(1泊2食) ・日帰り ¥2,200(入浴付) <small>※10名様以上からご利用いただける大皿盛りのカラオケ付きプラン。 ※無料送迎付(札幌市内1ヶ所、要予約)</small>	日帰り入浴 ・60歳以上等 ¥310 ・中学生以上 ¥420 ・60才未満
 ※無料送迎バスあり 札幌市内1ヶ所のみ (10名様以上・要予約)	季節膳コース 1泊2食 ・60歳以上等 ¥7,000 ・中学生以上 60才未満 ¥7,600 <small>※2名様以上無料送迎付(札幌市内1ヶ所、要予約)</small>	<small>※ご宿泊の場合、11月～4月は別途暖房料がかかります！ 60歳以上等260円、小学生～60歳未満310円</small> TEL: 011-583-8553 FAX: 011-583-8574 指定管理者社会福祉法人札幌市社会福祉協議会 保養センター駒岡 検索	



高齢者の交通事故防止のポイント。



交通安全部長 山 本 悟

昨年11月芸術の森地区会館において、札幌市市民文化局交通安全担当課長村越俊文氏をお招きし、主として高齢者向けの交通安全教室を開催しました。当日受講できなかった方のために、講演内容の主要な点を紹介します。

平成27年の1年間、交通事故による死者数は、北海道では177人、うち65歳以上の高齢者は96人54.2%、札幌市では26人、うち高齢者は14人53.8%、しかも14人中12人が道路横断中に発生しています。特徴的なことは、死亡事故の65%（夜間は80%）は、左側からの進行車両によるもの。右からの車両ばかり注意し、左からの車両に対する注意が疎かな傾向があります。これらの要因は、高齢化による体力の衰えと俊敏性の低下、判断力の低下、歩行速度の低下、視力の低下、目

線が足元に集中しがち、地味な服装が多い等があります。高齢者の事故防止のポイントは、多少遠くても必ず横断歩道を利用、横断中も左右を確認、斜め横断はしない、左からの接近車両に注意、夜間は極力明るい服装、反射板の利用に心がけることです。

また、最近のシートベルト着用状況は、前席はほぼ着用されていますが、後席の着用は半数程度にとどまっています。シートベルト不着用時の致死率は着用時の14倍。車に乗る時はどの席でもシートベルトを着用してほしいとのことです。

なお、当日は講演のほか、道警本部と南警察署の協力で、シュミレーターによる運転診断と道路横断診断も体験し、交通安全意識の高揚を図ることができました。



☆福祉除雪

「地域協力員の方々、大変ご苦労様でした」

芸術の森地区社会福祉協議会

昨年末は、16年振りの大豪雪に見舞われ、福祉除雪をお引き受けいただいた地域協力員の方々には、作年12月から3月25日まで、ご協力いただき、大変、ご苦労様でした。

この福祉除雪は、自力で除雪が困難と認められる世帯などを対象に、毎年、9月の申込みを経て、各町内

会の協力員（地区社協へ登録）により行われております。

本年度は、60名の利用があり、感謝の言葉を頂くなど、皆さま方の暖かいご支援に感謝申し上げます。

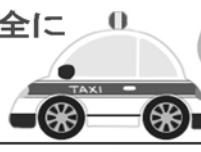


ママサポートタクシー

好評受付中！

子育て中(3歳未満)のママもご利用いただけます。

妊娠中のママを安全に送迎致します。



タクシーのご用命は… 配車指令室 ☎ (011) 811-5151 / ☎ 0120-4168-41
RARAカードポイント・JALマイレージたまります

㊀ 第一交通産業グループ



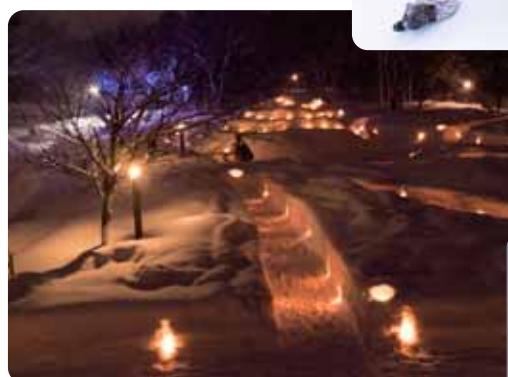
常盤児童会館

数日前からキャンドル作りで楽しみました。当日は生憎の天気で、雨・みぞれそして風も強く、キャンドルに点灯してもすぐ消える状態でした。おもてでの活動はできませんでしたが、子どもたちは元気で、温かいココアや豚汁をいただき、楽しんでいました。



札幌芸術の森

今年は雪が舞ったりした天気でしたが、今年もアートホールをはじめ、園内を広く使ったプログラムを行いました。「餅つき大会」では300名以上の人人が集まり、小さなお子さんも体験し、屋外美術館ではスノーロングスライダーでたくさんの子供たちがそり遊びに興じていました。キャンドルのランタンづくりワークショップも盛況で、今年の入園者数は2,000名を超えました。



札幌市立大学(ARTOU)

今年もキャンパス内のエントランス、アリーナ、グラウンドを会場にたくさんのプログラムを行いました。エントランスでは、アートマーケット、ワークショップ、ライブイベント、そしてステンドグラス模様のイルミネーション、キャンドルの点灯式も行いました。アリーナではよさこいソーラン、軽音楽部、吹奏楽部、ダンスサークルの演奏・円舞を行い、グラウンドでは、キャンプファイヤーや暗くなつてから打ち上げ花火を行って来場者を楽しませていました。



芸術の森地区 雪あかりの祭典

今年の「芸術の森地区 雪あかりの祭典」は、ますますの天候で、無事終わることができました。

「雪あかりの祭典」は、次の日程で行われました。

- 1月27日：常盤児童会館
- 1月29日：札幌芸術の森・札幌市立大学・関口雄揮記念美術館
- 2月2日：駒岡小学校
- 2月4～5日：南老人福祉センター・見晴町内会
- 2月8日：芸術の森地区会館
- 2月11日：札幌市保養センター駒岡

関口雄揮記念美術館

前庭に市立大学の山田ゼミの学生によるキャンドルは、通路に配したスノーキャンドルと共に幻想的な趣を醸し出していました。恒例のジャズライブも演奏されて、来場された方は温かいココアを頂きながら楽しんでいました。



駒岡小学校(スノーフェスティバル)

朝9時から開会式を行い、その後スキー遠足を行いました。今年は最高の天気に恵まれて、心地よい汗をかきました。午後からは自分たちで作った雪像の発表会、みずなら班（1年生から6年生までの縦割り活動）で炊事活動。夕方からもちつき大会を行い、全員が餅つきを楽しみました。その後、全員外に出て雪像やスノーキャンドルを見て、雪の滑り台で楽しみました。今日は宿泊学習で全員が学校に泊りました。



南老人福祉センター&見晴町内会(雪あかりの祭典・スノーフェスタ)

今年も風がなく最良の天気に恵まれて、訪れた700名以上のお客さんを楽しませていました。センター周辺の地形を生かしたアイス、スノー、ペットボトルのキャンドルは約3,000個、イルミネーションは約60基と配置も工夫されて、藻岩、川沿、藤野の夜景と相まって素晴らしい眺望でした。来場者はコーンスープ・豚汁で暖まりながら楽しんでいました。



芸術の森地区会館 (雪あかりの祭典)

今年もアパシヨナート（地域在住の高校生）の二人が、会場を華やかに沸かせていました。コンサートの中では、来場者全員で「虹と雪のバラード」をヴァイオリンとピアノの伴奏で合唱しました。学生と町内会が協力してのイベントで皆さん楽しんでいました。



「芸術の森地区社会福祉協議会のシンボルマーク」が決まりました！

芸術の森地区社会福祉協議会 事務局長 金子 侑

当地区社会福祉協議会が、昨年、創立20周年を迎えたのを機に、地域住民や各学校との連携を一層深め、今後の福祉活動の推進を図るために、「シンボルマーク」作製の公募を行い、214点の応募があり、昨年11月24日の審査委員会（委員長：札幌市立大学特任助教 篠谷祐介氏）を経て、12月19日に常盤中学校で、優秀作品発表と表彰式が行なわれました。

最優秀賞には、佐々木優太さん（常盤中2年）の作品が（選評理由「小さいけれど懸命に咲いている花に目を向け、ヤマセミがそれを抱きかかえて守る発想力が伝わってくる温かさが評価のポイントとなった」；篠谷審査委員長）、また、優秀賞には、伊藤匡さん（常盤1区）、檜森勝憲さん（常盤団地）、ボゼア航さん（常盤中2年）、二階堂紅花さん（常盤中1年）が受賞されました。

最優秀賞の佐々木さんは、「芸術の森地区は、いろいろな人に守られていると感じます。そこから、どんなものも皆で守って行こうというメッセージを込めて描いてみようと思いました」と喜びを語りました。



・最優秀賞作品
(佐々木優太さん)

今後、最優秀賞のシンボルマークを、当地区社会福祉協議会の会旗として、また、各事業の周知時に活用を図り“お互いに支え合う優しいまちづくり”を進めてまいりたいと思っております。



喜びの受賞者の方々を囲んで

(前列、左側から2番目の方から二階堂 紅花さん、ボゼア 航さん、佐々木 優太さん、檜森 勝憲さん、伊藤 匡さん)

芸術の森地区「福祉推進員」研修会を終了して

芸術の森地区福祉のまち推進センター 委員長 塩崎典男

福祉推進員の役割とは何なんだろう？

地区内の13の町内会には96人の福祉推進員がいますが、多くの推進員の方が疑問に感じたことがあると思われます。

活動推進部はこの疑問に応えるべく、毎年、年1回福祉推進員のための研修会を行ってきました。

地区福祉のまち推進センターは、身の回りに住んでおられる高齢者、特に独居世帯、支援を必要としている高齢者に対し、「見守り活動」を通して支援の手を差し伸べる活動を、単位町内会ごとにできるよう年4回センター委員会



で協議を進めてきました。

各単位町内で福祉活動をされている推進員の皆様が、現状を把握し、今後の福祉活動を進めるための研修となるよう、研修会回数を2回にし、地区内全福祉推進員の参加を目指しました。（実施日は10月28日と11月17日）

研修内容は、芸術の森地区を取り巻く高齢者の状況把握、介護制度の概要とケア会議の取組状況、地区内の介護活動の実情等を南区福祉課、南区包括支援センター、南区介護予防センター、南区社会福祉協議会の皆様から教示して頂きました。

研修会への推進員の参加数は62人（64.6%）で全員参加とはなりませんでしたが、アンケート結果からも明らかなように研修会の必要性については皆さんがあつて必要との認識でした。

参加町内会は9町内会（69%）となり、平成29年度も継続して2回実施し、研修内容も更に検討を重ね、より良い研修会を実現したいと考えています。

入所サービス
ショートステイ



みなさまの想いにおこたえいたします

医療法人 愛全会
介護老人保健施設
〒005-0849 札幌市南区石山837-47



0120
FreeDial

アートヒルズ
みんな しあわせ 365日
0120-348-365

通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリ



もりの仲間の子育てサロン

芸術の森地区福祉のまち推進センター
子育て支援部長 三上 良子

親子の元気な声が響きます。おじいちゃん・おばあちゃんのちょっとした声掛けに、子供たちは、安心した表情を見せます。日本の四季を大切にした行事は、ボランティアさんのアイデアがいっぱいです。0歳から就学前のお子様とママ・パパ！同じ年のお友達もたくさんいて、情報交換の場にもなります。おもちゃ・本、充実しています。是非おいでください。（写真はサロン風景）

開催場所：

芸術の森地区福祉のまち推進センター（南老人福祉センター内）
緑地公園隣、無料です。



平成29年度の開催日が決まりました。原則、第1・第3水曜日に実施（平成29年度に限り25回実施予定）

4月5・19／5月10・17／6月7・21／7月5・19／
8月2・16／9月6・20／10月4・18／11月1・15／
12月6・20／1月10・17・31（1月3回）／
2月7・21／3月7・14／



福祉推進委員会活動を訪ねて(2)

常盤団地町内会・福祉推進委員会

地域福祉活動の一環として、町内会組織とは別に平成21年に福祉推進委員会を設立しました。平成27年から福祉推進委員会活動理念を重視して、町内会に居住するすべての人を対象に活動しています。現在25名の推進員と町会長（6ブロック）を含めて、見守り訪問活動を展開しています。

福祉推進委員の中には、福祉除雪に協力している委員もいて、振込詐欺を未然に防ぐことができたケースもありました。昨年の12月、除雪に伺ったとき、一人暮らしの90歳近い高齢女性が身支度をして玄関で

待っていました。声をかけると「これから税金納めに同行してくれる役所の人を待っている」と言うので、役所の人が同行することに不審を感じ、「振込詐欺ではないですか」と申し上げました。

その後、関係機関に連絡、詐欺であることがわかり、被害に遭うことなく、未然に防ぐことができました。札幌市南部市税事務所納税課では、「職員が税金を直接徴収に行くことはない。滞納の場合はあり得る。その際は、文書で通知のうえ伺う」と言うことでした。疑問を感じたら1人で悩まず、身近な人に相談しましょう。



永久に生きる。花と緑の明るい聖地

真駒内滝野霊園

■お問い合わせ 真駒内滝野霊園管理事務所 ☎(011)592-1223(9時～16時)
http://www.takinoreien.com

真駒内 滝野霊園 墓参バスのご案内

■墓参バス出発時刻

地下鉄真駒内駅前発

10：10(4月～3月) 12：10(4月～11月のみ)

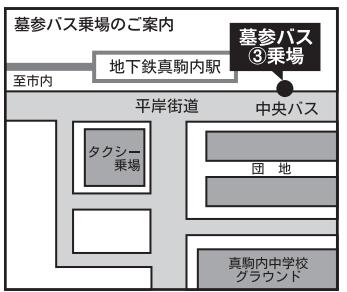
真駒内滝野霊園発

11：30(4月～3月) 13：30(4月～11月のみ)

●お盆・お彼岸期間中は定期便を運休し、特別便を運行いたします。

●年末年始は運休します。

※詳しくは管理事務所までお問い合わせください。



交流もちつき大会

青少年育成委員会

昨年12月11日（日）常盤児童会館で、交流もちつき大会を行いました。

前日の準備は、思いがけない大雪で除雪からはじまり、ノロウイルスの流行と大雪で中止も検討されました。何とか実施にこぎつけることができました。

当日は、参加していただいたお父さん達にも餅つきを手伝っていただき、また、子供たちも餅つき体験をし、参加者と一体感のある餅つき大会となりました。ついたお餅は、家族でお雑煮、お汁粉、黄な粉、納豆、おろし大根などの好きな食べ方を選び、

おかわりをしながら美味しそうに食べていました。

来年も予定していますので、おいしいお餅を食べに、楽しい一時をすごしに参加してください。お待ちしております。

お手伝いしてもらった子供たち、地域の皆さんどうもありがとうございました。来年もまた参加していただいた方々のご協力をいただき、楽しい餅つき大会にしたいと思います。



小学生初心者スキー教室開催

青少年育成委員会

1月7日（土）、今年も藤野のFu'sスノーエリアにおいて、小学生の初心者を対象にしたスキー教室を開催しました。

今年は天候に恵まれ、スキー場も沢山のスキー教室が開催される中、青少年育成委員会主催のスキー



教室は、石山東小、常盤小、駒岡小から28名が参加での実施となりました。

今年は全くスキーを付けた事がない初心者9名、ある程度滑ることができ

る子供が19名でしたが、滑ることができる子供は、リフトを使い何回も滑り上達しました。初心者は転んでは起き上がりと悪戦苦闘の連続でした。残念ながら滑りないと滑れるまでにはなれませんでしたが、一人でスキーを付けて緩い斜面をすべることができるまでになりました。

お昼は、みんな大好きなカレーライス、おかわり自由だったので、おかわりする子供もいました。

最後は、終了証が渡されました。青少年育成委員一同、学校のスキー教室で、成果がでることを祈って、スキー教室を今年も無事終了しました。



第10回パークリング大会

芸術の森東地区スポーツ振興会

2月26日（日）石山東小学校体育館に於いて行いました。

10回目を迎えた今回は、天候にも恵まれて冬季間の運動不足解消にと、子供を含めて61名の地域の皆さんに参加をいただき、予選リーグ・決勝リーグ・



順位決定戦を行いました。皆さん1球ごとに歓声を上げてプレーを楽しんでいま

した。

優勝は、駒岡グループ（伊東四郎さん・川北秀雄さん・川北サヨ子さん）、

準優勝は、見晴グループ（三好晴久さん・三好亮子さん・林恵さん）、3位は、石山東グループ（片岡誠さん・中島義人さん・増井保夫さん）。

子供の部は、優勝：山本裕巳君、準優勝：増田菜々子ちゃん、3位：増田智紀君でした。

パークリングは大人も子供も楽しめる競技です。来年もたくさんの皆さんの参加をお願いします。



楽しい交流の場となりました

～すこやか健診の講演のあとはおいしい料理をいただきました～

芸術の森地区福祉のまち推進センター ふれあい交流部副部長 町田 麻里子

ふれあい交流部支援事業の一つ、料理教室を2月9日(木)まちづくりセンターで開催しました。28名の参加でした。

南区保健センターの保健師からすこやか健診のすすめと、管理栄養士から栄養について講演して頂きました。

今回のテーマは「減塩・簡単お手軽料理教室」。

下ごしらえから調理には、南区食事改善ボランティアの協力を頂きました。

メニューは「みそちゃんこ鍋」「豆まめサラダ」

「ほうじ茶プリン」。

野菜たっぷりの料理を皆でおいしく頂きながら、楽しい交流の場となりました。



異世代交流事業実施報告

芸術の森地区福祉のまち推進センター

ふれあい交流部副部長 町田 麻里子

異世代交流事業を、今年は2月26日(日)サンプライト真駒内町内会館の冬まつりの中で開催しました。今回は手作りキャンドル教室で「フルーツパフェを作りました。

定員を上回る参加で、素敵な作品ができました。



常盤スノーフェスティバル

常盤体育振興会

協力 常盤小学校PTA地区委員

「雪と遊ぼう」として、第26回スノーフェスティバルが、3月5日(日)常盤公園の自然をバックに行いました。子供たちはストラックアウト・宝探し・チューブすべり・人間ばんば・雪積み競争に、地区委員のスタッフによる安全誘導の下に進められ、元気一杯の歓声が響き渡っていました。特に高台から



のチューブ滑りは、硬い雪質にも恵まれてスピード感とスリル満点の滑りを楽しんでいました。天候にも恵まれ

て、子供157名、保護者とお手伝いの人約60名と大勢の人が集まり、怪我もなく無事終了しました。



ゲーム終了後、毎年好評の大鍋で作ったおかわり自由の豚汁と、ジンギスカンが用意され、皆で和やかな一時を過ごしました。

催しにあたり、事前に使用遊具備品の点検準備、会場の安全確認等細部に亘り貢献頂いた常盤小学校PTA地区委員、豚汁材料の下準備等をしていただいたスポーツ少年団のお母様、更に地域貢献事業に対するご理解とご支援を頂いた常盤小学校の先生、そして地域の皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

**芸術の森地区連合会構成団体
平成29年 総会日程(予定)**

構成団体	H29年度	開始時間	備考
交通安全運動推進委員会	4月13日(木)	11:00	芸森会館
地区青少年育成委員会	4月2日(日)	15:00	芸森会館
女性部・交通安全母の会	4月17日(月)	13:00	芸森会館
連合会	4月22日(土)	15:00	芸森会館
南老人クラブ連合会第7ブロック	4月18日(火)	13:30	芸森会館
統計調査員協議会	5月10日(水)	17:00	芸森会館
地区社会福祉協議会	5月14日(日)	14:00	芸森会館
常盤体育振興会	5月13日(土)	18:00	一区会館
東地区スポーツ振興会	5月13日(土)	15:00	芸森会館
クリーンさっぽろ衛生推進委員会	5月18日(木)	18:00	芸森会館

～おめでとう～

○札幌市南区清掃ボランティア実践者表彰

<受賞者> (平成28年10月29日)

アートパークタウン町内会 前田 巧 氏

○第9回札幌市ぬくもり・すこやか表彰

<受賞者> (平成29年3月28日)

芸術の森地区社会福祉協議会

•よろしくお願ひいたします•

芸術の森地区まちづくりセンターの職員として、3月1日から佐々木清美さん(常盤1区町内会)、4月1日から川島真由美さん(見晴町内会)がお勤めになります。

新人です。よろしくお願ひいたします。



佐々木清美さん



川島真由美さん

編集後記

- 今年の冬は、当地域では例年より1メートルも多い積雪でした。雪かきで苦労された方、足腰を痛めた方も多かったと思います。いい加減にして欲しいと天を見上げていました。夏には道内で台風による被害が発生して住民の生活にも影響を与えています。今後が思いやられます。
- 冬のイベントも無事に終了しました。雪あかりの祭典では、毎年工夫がなされて訪れる人を楽しませていますが、高齢化していく中で後継者の問題が顕在化してきています。知恵を出し合いながら継続して欲しいです。
- この広報誌が皆様のお手元に届く頃には新年度が始まっています。引き続きよろしくお願ひします。

地区広報「芸術の森」編集委員会

委員長 島田三千春	委員(監査) 馬場 宏
副委員長 三上 良子	委員 繁在家公恵
委員(会計) 火山 正己	〃 富樫 秀雄